



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第 428 号

主の降誕によって人と人とを結びつける創造主の思い

フランシスコ・アシジ 谷口尚志

教会は待降節を迎え、新たな一年をスタートさせました。信仰生活を新たにしながら、神が創造された世界で日々起こる多くの出来事に、あらためて真剣に目を向ける必要があります。戦争によって憎しみは増大し、憎しみの連鎖は暴力行為を正当化させていきます。それにより、国家間の軍事力強化の方針は正当で“核抑止力”という言葉も一般的に使用されるようになりました。慣れというのはよく考えると怖いものです。誤った認識のままにしていることすら気付かずにいることになるからです。“核抑止力”という言葉はその良い例でしょう。「戦争を起こさせないために核を持つ」。響きの良い表現に聞こえますが、要するに、核を保有する国家は限度のない核開発競争が保証されるということです。さらに、保有するという事は、いつでも核の使用可能な状況を作り出すことにもなるのです。防衛費、軍事費などは増大する一方で、社会保障制度のための議論は後回しで進まない。現代世界は麻痺してしまっているようです。しかし、わたしたちキリスト者は麻痺した状態でいてはならないのです。世界に希望を与える人にならなければなりません。すべての人が笑顔になれるように。

クリスマスは神と人間、人間と人間とのつながりを再確認する機会です。人間同士、切り離されてしまった神と人間とのつながりを再構築するために生まれた方がイエスだからです。イエスはことばをもって問いかけ、働きかけます。イエスはヨハネによる福音書で「ことばのうちに命があった。命は人間を照らす光であった。ことばは肉となってわたしたちの間に宿られた」と紹介されているとおりです(ヨハネ1章を参照)。

すべての人が、イエスの「ことば」に触れて希望を見出すことができますように。そのイエスの問いかけ、働きかけに呼応して、キリスト者がすべての人に希望を与えられる言葉を発する者となれますように。希望の見えない世界を照らすのは天地を創造された父である神の「ことば」が人

ガンバ3	2面
外国語ミサの話(2)	3面
水巻営繕ささえ隊	4面
神学院祭	5~6面
幼稚園から	7面
委員会等報告	8・9面
お知らせ	10面

となったイエス・キリストです。創造主である神をして「極めて良かった」（創世記1・31）と言わしめた人間に対し、神が今も向けられる力ある「ことば」に支えられながら、力強い言葉で語り続けるわたしたちでありますように。イエスと共に人と人をつなげる使命の大きさを感じつつ歩んでまいりましょう。



「財務委員」



2021年度より財務委員を担当させて頂いております。

教会活動において、曖昧さが許されない大変重要な役だと察していましたので、

お受けするのにとてつもない勇気が必要でした。

主な役割は

- ① 信徒の皆さんが納めて下さる維持費・神学校後援会費、また2021年度1月より新たに始まりました、改築献金の内容を名簿に記帳していくこと。
- ② 小教区の資金運営状況を把握し、役員会に報告し次年度の予算を検討していくこと。
- ③ 信徒総会で信徒の皆さんに報告する収支決算報告書の作成。

これらの作業には事務の岩崎さんとの密な連携が必要となり、微力な私をいつもサポートして頂き感謝しております。

一番大切なのは、信徒の皆さん一人一人の大切なこの献金がどのように、水巻教会、カトリック教会ひいては全世界の中で使途されているのかを明らかにお伝えし、理解していただくことだと思います。どうぞ皆さん、教会の中の「お金」について分からないこと、疑問に思うことありましたら遠慮なくおたずねください。

坂本 初美



外国語ミサの話 (2)

岩本光弘

私が最初に外国籍の人たちと接触し始めたのは、90年頃から天神町教会で行われていたスペイン語ミサの手伝いでした。この事は前にも少し書きましたが、その時に知り合ったのが中間地区の小林ご夫妻です。小林さんには今も親しくさせてもらっています。

この時に戸惑ったのはラテンアメリカの人たちと私たちの考え方の基礎がかなり違うことでした。俗にいうアイデンティティーが違うということです。

例えばミサが始まる時間も定刻通りだったことは全くありませんでした。毎回司式をしていたラバルタ神父は水巻教会におられました。時間などに厳しい人だったことを覚えている方もいると思います。そのころ水巻にいたガイヤール神父が「スペイン語ミサは時間通りに始まっていますか」と私に聞きました。「いいえ、何時も20分は遅れます」というと「ラバルタ神父は毎回怒っているでしょうね」というのです。私が「もう慣れたですよ」と言うと爆笑したのを覚えています。ラテンアメリカの人たちは、時間について日本人のようにきっちり守ることを知らないのかと不思議でしたが、そのうちに私も慣れました。

子どもを連れてミサに来ている人も何人もいましたので、子どもの教育について何か手伝うことが無いかと、話し合う場を作りました。少し問題を抱えている子どもがいることを感じたからでした。ラバルタ神父にも相談して開いたのでしたが、話が全くかみ合わないのです。そのころはまだ外国の人たちの考え方と日本人の考え方がかなり違うことを知りませんでした。その取り組みの失敗は、それからの私の教訓になりました。

何年か後に福岡の美野島司牧センターでの九州ネットワークの会議に地元の美野島小学校の先生が来るようになりました。先生のクラスに北九州から転校してきたペルー人の生徒がきたのですが、色々な課題があるために参加するようになったそうです。この子は天神町教会のミサに来ていた家族でした。親の考え方が理解できないということでしたが、私が親を知っていたので、一緒に相談に乗りました。

その後、先生たちが開いている教育研究集会に外国人問題の分科会を作りたいということで私が実行委員会に参加をすることになりました。分科会には県内各所の学校から課題にぶつかっている先生方が参加されていて、話を聞くだけでも勉強になりました。何回目かには私がペルーに行った時に記録してきたペルーの学校の現状をスライドを映しながら話をしました。先生方は日本の学校の状態と外国の学校の内容がかなり違うことを実感されたようで好評でした。

北九州のスペイン語ミサは、福岡のイエズス会の神父が来てくれていました。ある日イエズス会の神父が来られないのでラバルタ神父が説教しました。ミサの後ラバルタ神父が「今日の説教は分かったか」と聞いたところ「神父のスペイン語は分からなかった」と言われたそうです。そのあとすぐに私の所に来てこの話をして「私のスペイン語は駄目なんかね。がっかりしたよ」と言ったので爆笑したのを覚えています。

水巻宮繕ささえ隊

こんにちは。私、水巻教会 総務直轄 宮繕部 岡部です。

先日は、教会2階の宮繕的な目線を持つてのパトロールにたくさんの参加が有りました。皆さん、興味を持って頂いたようです。まだ部活動としては、スケジュールは立てていないところですが、皆さんと巡回して気付いたことは、すでに実行中です。

まず、1階の車庫の横の桜の木とその隣の木、園庭の滑り台の横の50周年記念樹の整枝、剪定を行いました。特に50周年記念樹についてはクリスマスの時に、クリスマスツリー仕様にしようかと、話が出ました。

聖堂の右側小部屋の棚も増設しました。まだまだ改良点は有りますが、出来つつあります。また、典礼用の道具の片付け用棚も思い切って整理しました。教会の典礼には、結婚式、洗礼式、クリスマス、御復活祭と有りますが、誰でもその時に使える様、整理しておくことが大事なことと思います。

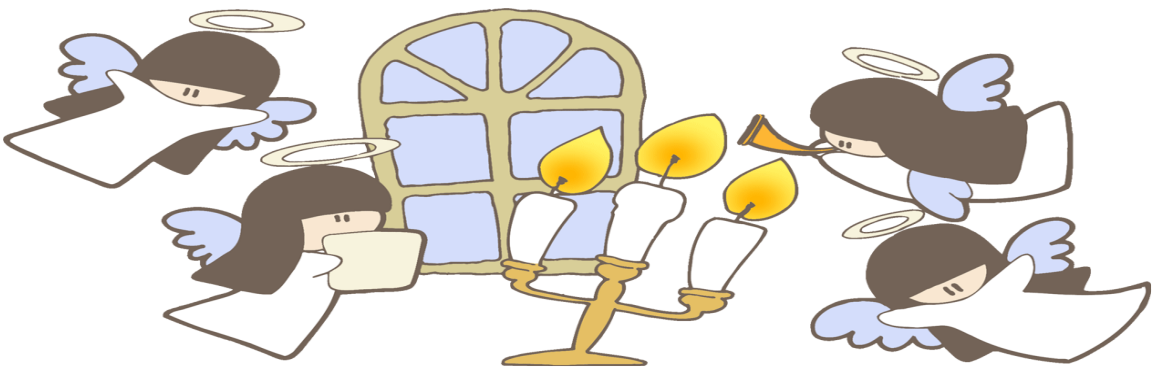
時代とともに、教会の状況も変化しています。そのような中で、水巻教会の事を自分の事として、支え守っていく事が次世代に繋ぐことだと思います。

そのうえでもう一つ提案です。皆さんご存じのLINE(ライン)、この中でグループを結成したいと思っています。グループ名は”水巻宮繕ささえ隊”としました。

今後の活動についてはその都度情報を共有していきたいと思っています。

現在、各部署での活動、仕事が行われています。有志の御婦人方の色々な奉仕の仕事もあっています。ですから、教会の中での事が共有できるという環境が出来れば良いなと思っています。

そこで、皆さんにラインの友達になって、グループに入ってもらいたいのですが、老若男女、性別、年齢に関係なく、参加をして下さい。中を見るだけでもよし、提案だけでもよし、活動に応援をしていただければ励みにもなります。長くなりましたが、宜しくお願いします。





11月3日 神学院祭

神学院祭は、とても大ぜいのひとがきていてにぎやかでした。ミサのテーマは「クリク・タム」で少女がねむってしまったが「クリク・タム」という、起きなさいという言葉がイエス様が言うと少女は起きた、というお話でした。長さきやくるめ、いろんな教会から神父様が来ていました。ほかにも、ミサの後には、ドッチビーや、つなひきなどがありました。神学院がなくなるのは悲しいです。

(宮本絹佳)



2023年11月3日 文化の日 青天を衝く秋の一日を、福岡カトリック神学院の学院祭に初めて参加しました。

9時半からの開会式・ミサに間に合うように朝7時10分発のJRに乗り、赤間駅で矢田さんと合流。特急かささぎに乗り博多駅へ。博多駅からは地下鉄七隈線で七隈駅にて降車。徒歩12分で神学校に着く。既に水巻カトリック教会の貸切バスは園内に駐車されていた。広大な学院内には熊本、長崎、山口と遠方からの参加者を乗せたバスが次々と到着して、やがてミサの会場(芝生の上にブルーシートで覆われた)は満席となる。

9時半シスターたち聖歌隊と共に入祭の歌「わたしたちは神の民」典礼聖歌172番を歌う中、アベイヤ司教様をはじめ各教会の神父様方が続いて座席につかれました。日曜日のミサと同じように、いつくしみの讃歌、栄光の讃歌 第一朗読、答唱詩篇、第二朗読、アレルヤ唱、続いて福音朗読マルコによる福音、今年の学院祭のテーマ「タリタ、クム」(起きなさい)が森山信三司教様によって説教されました。聖体拝領には長い列が。

ミサが終わると神学生達が考え抜いた企画が紹介された。各自は思い思いにキャンパス内でお弁当を広げてお腹を満たし、お目当ての企画を楽しんでいました。

手作りロザリオの教室には長い列が待っていたし、子ども達は神学生が運転するカートで園内巡りをしたり、芝生の斜面で草スキーに興じる歓声が広場に響いていました。校舎の横にある大聖堂では、牧山強美神父様のミニ講演があり、ジョークを交えたお話に聖堂は笑いの渦が湧き起り立聴者が出るほどの大盛況でした。

この日はアベイヤ司教様の誕生日とあって、皆でハッピーバースデーto you の合唱、拍手で祝いました。

最後に5人の神学生の一人一人の進路が紹介されると、皆は惜しめない拍手でエールを贈り、未来の司祭への成長を祈る時となりました。

来春には閉校となるこの学園にこのような賑わいはもう二度と訪れることはないのだと思いながら寂しいところのまま地下鉄に乗って帰路に着きました。(福嶋 東三子)





水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 12月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

〈水巻聖母幼稚園〉

先日は大型バスに乗ってミカン狩り遠足に行きました。みかんの木を見て大興奮の子ども達は、はさみを使って楽しそうに収穫していました。自分で採ったみかんを口いっぱい頬張って「おいしい〜」「ちょっとすっぱい」と笑顔いっぱいになっていました。収穫したみかんはお家に持ち帰ってお土産にしています。



教会では七五三の祝福式を行いました。神父様より按手（祝福）していただきました。みんなでこれまでの成長を喜び合い、周りの方への感謝を感じる式になりました。代表の子ども達が共同祈願をしています。平和の心が世界へとつながるよう日々を大切に過ごしていきたいと思いません。



水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559

e-mail : coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

〈マリア子どもの家〉



畑とプランターの芋を掘りました。「うんとこしょ、どっこいしょ、・・・出てくるお芋はどろんこお芋、でっかいぞ！小っちゃいぞ！」と、お芋のつるを引きました。

すると、その隣で、お芋の茎にしっかりとつかまっている大きな青虫を見つけました。「葉っぱがなくなったら困るよね。」「どんな成虫になるのかなあ？」それで、青虫がつかまっていた一株はそのままにしておくことにしました。これから寒くなるのに、どう過ごすのでしょうか？



掘ったお芋は、おやつ時間に蒸して美味しく頂きました。

TEL : 050 5212 7759

HP : 水巻町マリア子どもの家

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美

教職員 一同

委員会等報告

2023年11月分

11月度小教区委員会 11月5日

1. 行事予定

- ・12月3日(日) 小教区委員会
- ・12月9日(土) 19時～待降節黙想会
黙想指導はアウグスチノ修道会/
Fr,桑原篤史師
- ・12月10日(日) ミサ後～待降節黙想会
- ・12月17日(日) 18時～ベトナム語ミサ
- ・12月24日(日) 9時30分～ミサ。
ミサ後～パーティー
＜主の降誕・夜半＞18時～ベトナムの
青年たちによる聖誕劇、ミサ。
- ・12月25日(月)＜主の降誕・日中＞
10時～ミサ。
- ・12月31日(日)＜聖家族＞9時半～ミサ。
16時～感謝の集い。
- ・1月1日(月)＜神の母聖マリア＞
9時30分～ミサ。ミサ後～車の祝別。

2. 議題

(1)各専門委員会および代表委員(営繕、納骨堂、冠婚葬祭)、北九州地区宣教司牧評議委員より

①広報委員会

- ・「からしだね」の次号はクリスマス特集。
11月3日(金)に行われた神学院祭に関する
記事を載せ、150部を準備する。

②典礼委員会

- ・10月29日(日)に典礼委員会を開き、ク
リスマスの典礼の流れを確認した(ベトナム
の青年たちによる聖劇あり)。
- ・11月12日(日)に馬小屋、イルミネーシ
ョン等の確認を行う。

③総務委員会

- ・(図書係より)日頃からもっと所蔵図書を
借りて行っていただくために、来年1月か
らふれあい会において図書の展示を行う

④財務委員会

- ・9月で会計年度の半期が過ぎたため、来年
1月に収支報告ができるよう準備しておく。

⑤営繕の部

- ・聖堂の壁に留めてある十字架の道行きの
レリーフについて。固定があまく、いつ落下
してもおかしくないため、確実に固定するた
めの作業を模索中。
- ・香部屋と反対の部屋に、花を生ける際に
使用する道具類を整理するために新しく棚を
設置した。

⑥納骨堂管理の部

- ・管理費納入袋を新しいものに交換した。
- ・カトリック北九州納骨堂との連携に基づ
いて作成された「納骨堂管理規約」を小教区
委員会に提出。承認を得たことにより、11
月19日(日)に行われる納骨堂利用者集会に
て利用者に向けて詳細な説明を行う。

⑦冠婚葬祭の部

- ・11月12日(日)、小倉教会で行われる結
婚式に同席する(今後、水巻教会での結婚式
に活かす目的で)。

⑧北九州地区宣教司牧評議会

- ・本日15時より臨時評議会
があるため、その報告を次回
の12月3日(日)に行う。



(2) 12月24日(日)のクリスマスパーティーについて。

・飲食物の準備は各地区で対応していただくことになった。飲み物類⇒中間・吉田・梅ノ木地区。ケーキ⇒海老津・赤間地区。パン類⇒遠賀・芦屋地区。ご飯類⇒折尾・高須青葉地区。ベトナム料理⇒ベトナムの青年たち。

(3) 1月14日(日)のアベイヤ司教様の公式訪問について(初聖体のお祝いを兼ねる)。

・ミサ後に立食形式でお祝い会を開く。オードブルやピザ、お菓子などを役員会が準備することとなった。

(4) 四旬節の黙想会と送別会について。

・来年の四旬節黙想会の日時は来年2月17日(土)19時~20時、18日(日)ミサ後~12時。指導はFr.ルイ・ベリオン師で、テーマは「宣教の精神~来日時と現在との相違を踏まえて~」。黙想会後に送別会を開くが、食事の準備についてはふれあい会や協力して下さる方などに呼びかけることとなった。

(5) ロザリオの習慣化、「諸聖人の日」、「死者の日」、および「灰の水曜日」について。また「死者の月」における適応について。

・5月の聖母月と10月のロザリオの月には毎日曜日の8:50から共同体でロザリオを唱えているが、聖母マリアは水巻教会の保護の聖人でもあるため、11月19日(日)より、毎週、唱えるようにする。

・11月1日の「諸聖人の日」と11月2日の「死者の日」、および「灰の水曜日」の典礼を始める時間を、今後は平日のミサの時間

(7時~)、もしくは、園児たちが降園した後の15時~に変更する(夜の時間は避ける)。

・現在、8月15日の聖母の被昇天の祭日でのミサにおいて死者の名前を書いて祭壇に捧げているが、典礼的には「死者の月」において適応することが相応しいため、今後は「死者の月」での適応に変更する。

(6) 現状にあわせた冠婚葬祭の部の代表の役割と、その協力者について。

・現在、正式な代表が不在。この役割は訃報を受けて対応する主任司祭と地区役員との連絡役として不可欠なため、あらためて全信徒に役割の大きさを認識してもらうよう、ミサ後に呼びかける。典礼儀式のための協力者をまとめるリーダー的な役割ということではなく、パイプ役としての役割。

・死去した方の所属する地区の中における協力者も必要だという声を受け、地区集会においてその協力者を選んでいただきたい。その方は今後、葬儀に関して代表と他の既存の協力者たちとともに動いていただく。

(7) その他

・(6)に基づき、また、小教区委員会への代理出席者を選ぶため、地区委員は地区集会を開く(来年1月までに)。



12月のおしらせ

★レプトン会からのお願い★

伊万里のトラピストのクッキーとミサワインの申し込みを12月3日(日)まで受け付けます。売上金はペルーへの支援の一部となります。申込表は聖堂の後に置いてあります。品物は12月17日からお渡しする予定です。

★待降節の黙想会★

1日目 日 時：12月9日(土)19時～
2日目 日 時：12月10日(日)ミサ後～
指導司祭：桑原篤史神父(アウグスチノ修道会)
両日、黙想会が始まる前にゆるしの秘跡を行います。

12月9日(土)18時より

12月10日(日)8時30分より

★待降節第4主日ミサ ならびに 降誕祭夜半・降誕祭日中ミサ★

☆待降節第4主日ミサ

日 時：12月24日(日)9時30分～
ミサ後、クリスマスパーティーを行います。各地区が飲食物を担当します。ベトナム青年によるベトナム料理もあります。

☆降誕祭夜半

日 時：12月24日(日)18時から

☆降誕祭日中

日 時：12月25日(月)10時から
今年は、24日ミサが始まる時刻が朝、夜共にいつもと異なっています。ご注意ください。

★特別献金★

10月22日 世界宣教の日
22,450円
ご協力、ありがとうございました。

★こころの会★

12月のこころの会はお休みします。次回は1月です。

★感謝の集い★

日時：12月31日(日)16時～
聖体賛美式と「教会の祈り」を行います。

★神の母聖マリア★

日 時：1月1日(月)
午前9時30分～
車の祝別があります。

★ホームレス支援炊き出しのお礼★

11月10日(金)にホームレス支援の炊き出しを行いました。この日は19名の方が手伝いに来てくれました。ご協力、ありがとうございます。

★週報を見てください★

今年度末までの間、暫定的に主任司祭が直方教会の管理者に任命されたため、今後ミサの開始時間や予定などが変更される可能性があります。毎週配布される週報をよくお確かめください。なお、週報は福岡司教区のホームページを介しても閲覧することができます。

人 - ひ と

【帰天】安らかに！

11月17日

◇森 ユイさん(吉田地区)